

南アルプスの自然環境に配慮したリニア中央新幹線建設事業に関する決議

リニア中央新幹線整備は、平成26年に国土交通省の許可を得て大プロジェクトとして進められている一方で、大井川の水問題、建設発生土の処理、南アルプス高山帯の生態系への影響等、様々な環境影響に関する問題が提起されてきた。

南アルプスの自然や生き物の恩恵を大いに受けてきた静岡市民の代表として、本市議会では同年に「リニア中央新幹線建設事業に関する決議」を全会一致で可決し、静岡県、静岡県議会及びJR東海に対して、南アルプスの自然環境の保全、ユネスコエコパークとの整合を図ることを絶対条件とするなど自然環境や地域文化、また周辺・下流域住民の安全・安心な生活の確保に十二分に配慮することを求めている。

静岡県内では唯一リニア中央新幹線が通過する本市は、JR東海と「リニア中央新幹線の建設と地域振興に関する基本合意書」を取り交わしている。その中で、相互に連携・協力して誠実に本事業に取り組むこととなっており、とりわけ井川地区と玉川地区を結ぶトンネルの新設については、地域振興の観点に加え、リニア中央新幹線整備期間中の安全対策の面からも、早期の供用開始が期待されている。

自然環境への影響については、国の有識者会議等で専門家による議論が行われているところであるが、国、静岡県、静岡市、JR東海が一丸となり、我が国の叡智を結集し、南アルプスの自然環境が損なわれないよう今一度強く訴える。

以上、決議する。

令和5年10月11日

静岡市議会